

平成25年度 公共事業再評価調書

(区分) **国補**・県単

1. 再評価調書

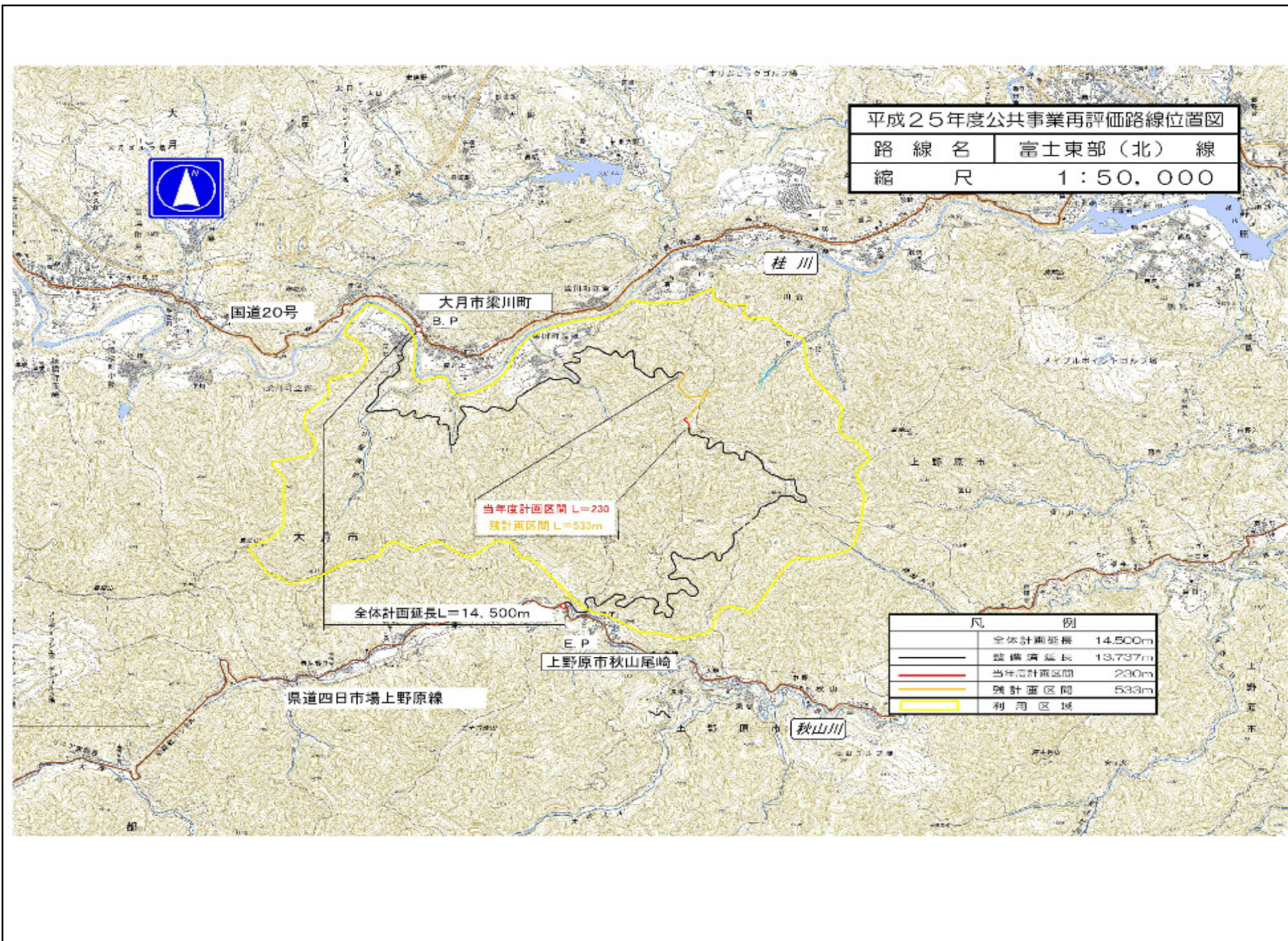
事業名	林道事業 [森林基幹道開設事業(国補)]		事業箇所	大月市、上野原市		地区名	富士東部(北)線		事業主体	山梨県		
	当初計画	現計画	今回見直し予定		<b>⑤再評価時の評価状況</b> (平成20年度再々々評価時) 森林を適正に管理し、森林の持つ多面的な機能を発揮させるための骨格的な林道であり、現在ほぼ計画どおりの進捗で進捗している。また、今後も順調に事業が進捗すると見込まれることから、更なるコスト縮減と時間管理を徹底し、計画年度までの完成に努められたい。							
計画期間	S58~H19	S58~H27	—									
総事業費	6,140百万円	—	—									
<b>(1) 事業の概要</b>												
<b>①事業目的及び効果</b>												
本路線は、大月市梁川町と上野原市秋山尾崎を結ぶ生活関連林道であり、桂川流域及び秋山川流域の広大な森林を管理経営する森林基幹道である。 利用区域1,313haのうちスギ、ヒノキ等の人工林は約49%であり、これらの森林を整備・管理し、資源を循環利用することはもちろんのこと、国土保全、水源かん養等の森林の多面的機能を持続的に発揮させるための森林整備の基盤となる骨格的な林道である。 また、国道20号と県道四日市場上野原線を連絡することにより広域的な地域間交通の利便性の向上や災害時の迂回路としての活用など、山村地域の産業振興、活性化、災害対策に寄与する。												
<b>②事業概要</b>												
森林基幹道 計画延長 14,500m 幅員 5.0m 利用区域面積 1,313ha 森林資源蓄積量 76,675m <sup>3</sup>												
<b>③全体計画</b>												
	平成24年度まで	平成25年度 (評価実施年度)	平成26年度以降									
工事内容	林道開設 13,737m	林道開設 230m	林道開設 533m									
事業費	5,666百万円	100百万円	374百万円									
<b>④特記事項</b>												
本路線は、大月市、旧上野原町、旧秋山村、道志村が設立した「林道富士東部線開設促進同盟会」の要望により、昭和58年度に事業の採択を受け全体計画を樹立し、同年度に県代行工事として着手した。 さらに、各町村は全線開通した時点で、災害による集落の孤立化対策や緊急輸送路確保のための路線として防災計画に位置付ける予定である。												
<b>(2) 評価項目 [事業を巡る社会経済情勢等の変化]</b>												
<b>①地域・住民の意向状況</b>												
大月市、上野原市秋山は隣接しているものの、他地区を大きく迂回しての往来を余儀なくされ、一体的な生活圏の形成や緊急時輸送の大きな障害となっている。広大な森林は、公益的・経済的な恵みを住民にもたらすが、林業就労者の減少・高齢化が進んでおり、生産性の向上、作業の軽減、生産コストの低下のために林道整備は必要である。さらに、近年はレクリエーションにも利用されている。このため、林道開設への地元の期待は非常に大きい。 (大月市長、上野原市長の意見)												
<b>②産業・経済情勢</b>												
木材価格の低迷など林業の採算性の低下により、生産者の意欲は減退している。県産材を低コストで生産し、安定的に供給するための取り組みが必要となっている。												
<b>③国等の方針変更</b>												
・森林・林業基本計画 国は平成23年7月に「森林・林業基本計画」を策定し、10年後の木材自給率50%以上を実現するため、路網整備の加速化などにより、林業の持続的かつ健全な発展を実現することとしている。												
<b>④上位計画・関連事業計画等の変更</b>												
・山梨東部地域森林計画(平成21~30年度) ・やまなし森林・林業再生ビジョン(平成24~33年度) ・山梨県林内路網整備計画(平成23~35年度)												
<b>⑤自然環境条件等の変化</b>												
なし。												
<b>⑥その他</b>												
なし。												
<b>(3) 評価項目 [再評価時点の費用対効果分析]</b>												
・事業採択時計画における事業全体B/C(昭和57年度) 未算出 ・再評価時計画における事業全体B/C(平成10年度) 未算出 ・再々評価時計画における事業全体B/C(平成15年度) 1.10 ・再々々評価時計画における事業全体B/C(平成20年度) 1.16 ・再々々々評価時計画における事業全体B/C(平成25年度) 1.05 林野公共事業における事前評価マニュアルにより算出												

## 2. 再評価調書

<p><b>(4) 評価項目 [事業の進捗状況及び見込み]</b></p> <p><b>①計画変更等の概要</b>          権利関係が複雑なため用地交渉が難航し進捗が遅延したため、平成15年度に計画期間の延長を行った。          当初：昭和58年度～平成19年度          変更：昭和58年度～平成27年度</p> <p><b>②施行済みの事業内容</b>          全体計画のとおり。</p> <p><b>③進捗率</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>*平成20年度</td> <td>平成21年度</td> <td>平成22年度</td> <td>平成23年度</td> <td>平成24年度</td> </tr> <tr> <td>計 画</td> <td>82</td> <td>85</td> <td>87</td> <td>90</td> <td>92</td> </tr> <tr> <td>実 績</td> <td>82</td> <td>86</td> <td>89</td> <td>92</td> <td>94</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>平成25年度</td> <td>平成26年度</td> <td>平成27年度</td> <td></td> <td>算出方法</td> </tr> <tr> <td>計 画</td> <td>95</td> <td>97</td> <td>100</td> <td></td> <td>計画延長/総延長×100</td> </tr> <tr> <td>実 績</td> <td>96</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>実施延長/総延長×100</td> </tr> </table> <p>*再々々評価実施年度          H25の実績は見込み</p> <p><b>④事業の進捗が順調でない理由</b>          計画のとおり進捗。</p>		*平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	計 画	82	85	87	90	92	実 績	82	86	89	92	94		平成25年度	平成26年度	平成27年度		算出方法	計 画	95	97	100		計画延長/総延長×100	実 績	96				実施延長/総延長×100	<p><b>⑤今後の事業執行上の問題点</b>          なし。</p> <p><b>⑥今後の事業の進捗の見込み</b>          予定どおり、平成27年度に完了する見込みである。</p> <p><b>⑦事業計画の変更の見込み・可能性</b>          なし。</p> <p><b>(5) 評価項目 [環境への配慮]</b>          地形の改変を極力少なくする路線計画とし、切土・盛土法面については在来種を主体とした確実な緑化による保全を図り、良好な自然環境の維持及び景観に配慮した計画となっている。</p> <p><b>(6) 評価項目 [コスト縮減の可能性]</b>          地形に合った平面・縦断線形をとり、法面、路側構造物等を縮小する。切盛土量の収支均衡を図り、土工事のコストを縮減する。また、急峻な地形においては路肩の縮減を行う。</p> <p><b>(7) 評価項目 [代替案立案の可能性]</b>          事業の目的を達成するためには当路線の開設以外に方策はない。</p> <p><b>(8) 所管部の今後の方針</b>    <b>継続</b>・見直し継続・その他 (    )          (理由)          計画どおりの進捗となっていることから、今後も時間管理の徹底やコスト縮減に努めながら事業を継続する。</p>
	*平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度																																
計 画	82	85	87	90	92																																
実 績	82	86	89	92	94																																
	平成25年度	平成26年度	平成27年度		算出方法																																
計 画	95	97	100		計画延長/総延長×100																																
実 績	96				実施延長/総延長×100																																



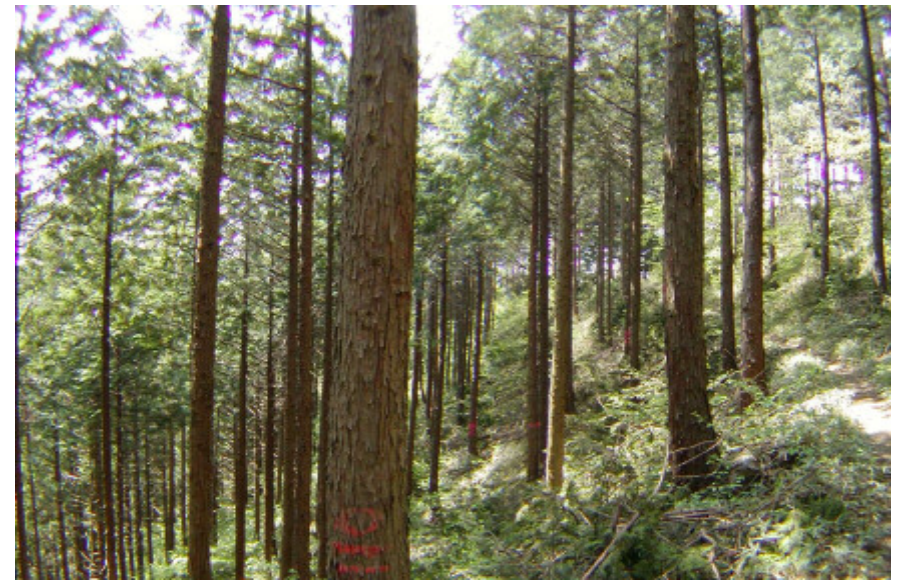
### 3. 添付資料シート（1）







計画地遠景



既設林道沿線における森林整備の状況



レクリエーション(上野原トレイルレース)利用状況



開設促進PR看板